



# THE RECORD



2004.07  
No. 536

Essay ~レコードと私~

ミッキー吉野 (ミュージシャン)

Special Feature

多様化する音楽の楽しみ方

● 平成15年度事業報告

**RIA**  
Recording Industry Association of Japan

社団法人 日本レコード協会

## ミッキー吉野 (ミュージシャン)



ミッキー吉野 (みっきー よしの)

1951年神奈川県出身。3歳からピアノを始め、16歳でGS全盛期のゴールデンカップスに参加、「長い髪の少女」等のヒットを出す。71年ボストンのパークリー音楽院に留学、卒業後帰国して、76年リーダーとしてゴダイゴを結成、作曲・編曲・キーボードを担当。「ガンダーラ」他数多くのヒット曲を生み出す。一方で提供作品も手掛け、編曲家としての提供曲は数多い。95年には、長崎平和コンサートのプロデューサーや中国・大連人民政府に招かれ「RETURN TO CHINA」を初演した。現在、CM音楽製作、音楽監督・プロデューサーなどの活動も精力的に行っている。

「今年は申年のせいかゴダイゴの『モンキーマジック』を良く耳にしますねえ、でもなぜか昔の曲という気がしないのですが」・・・と何人かに言われました。確かにラジオやテレビで今年は良く耳にします。なぜゴダイゴの曲が古くさくならないのかと言えば、グループの発想が「アドバンスド・ポップス」つまり20年30年経っても普遍的な国際的な音楽をめざしていたからなのです。「『ゴダイゴ』の意味は？」と良く聴かれましたが、本当のことを言ったことはなかったと思います。なぜなら一番強い名前を付けたかったので、本心を言ったらみんなが引いてしまうと思ったからです。今だから明かしますと「GOD I EGO」「神と自分自身とエゴ」、つまり「精神世界である神と肉体のエゴを愛を持ってバランスを保てれば最強になる」と考えて付けたバンド名だったからです。ゴダイゴも99年に復活を果たしましたが、今年はなんとカップスも復活します。

僕が「ザ・ゴールデンカップス」に加入したのは1968年でした。丁度「長い髪の少女」がヒットしていた頃、ギター केネス伊東さんが脱退するので代わりにキーボード奏者を入れたいということで、僕に白羽の矢が当たりカップス入りすることが決まったのです。実はこの時まで高校2年生でしたが、それ以前から「フラワークリエーション」と「Bebes」という2つのバンドでの横浜本牧のディスコティックや米軍キャンプを中心にした活動はしていました。ですからプロのミュージシャンとしては、36周年と言われてもいつからプロなのかあまりピンと来ませんでした。しかし初めてのレコードにはいまだに深い思い入れがあります。シングル「愛する君に」が僕にとっての運命の一曲となりました。カップスとしての初めてのレコーディング、それだけ

でも緊張しているのに、間奏でエレピのソロを弾けとのこと・・・今でも忘れられません。僕は70年に脱退したのですが、なんと今年「ザ・ゴールデンカップス」が復活を果たしました。とは言っても映画の中での話です。「Shall Weダンス？」や「シコぶんじゃった」「ウォーターボーイズ」などのプロデューサーとして有名な榊井省志さんの熱い思いが、それを現実のものにしたのです。彼は自他共に認めるほどのカップス・フリークで、いつか自分の手で「ザ・ゴールデンカップス」の映画を作りたいというのが夢だったそうです。

数々の映画を成功に導き、ようやく夢を実現する時が今年だったのです。「ワンモアタイム」という映画です。いったいどこから集めたのか・・・と僕らが感心するほど貴重なカップスの当時の映像と、北野武さん、忌野清志郎さん、矢野顕子さん、萩原健一さん他たくさんの方のミュージシャンや芸能人たちの証言でつづられています。「ザ・ゴールデンカップス」というバンドがいかに影響力を持っていたのか今更ながらに分かりました。

そしてこの映画の最高の見せ場は35年(?)ぶりにリユニオンしたカップスの横浜本牧でのライブ演奏です。メンバーはもちろんリーダーのデヴィ平尾をはじめ、エディ播、ルイズルイス加部、マモル・マヌーです。久々のプレイとは思えない息のあったサウンドに、我々自身も感動を覚えました。僕が音楽監督も務めていますが、ライブアルバムとしてリリースできるのではないかと考えています。まだ編集作業中ですが、今まで誰も観たことのないソウルフルなR&Bドキュメンタリー映画に仕上がります。公開は11月の予定です。映画館でご覧いただきたいと思っています。

企画・構成：木崎 徹

### 表紙の楽器

#### カヌーン

映画「第三の男」の音楽で使用され有名になったチターという楽器の一種で、アラブ古典音楽に欠かせない楽器である。薄く平らな木製の共鳴箱に70本以上の弦を張り、リーシュと呼ばれる爪で弦を弾いて演奏する。アラブ古典音楽は古代ギリシャや古代ペルシャ音楽から多大な影響を受け、いわゆるヨーロッパ音楽の音階よりもさらに微細な音程を使い分ける。そこから生まれる多彩なメロディはアラブ音楽を形作る大きな特徴となっている。

### Contents

Special Feature	
多様化する音楽の楽しみ方 .....	2
平成15年度事業報告 .....	7
著作権法の一部を改正する法律案が可決、成立 .....	10
Topics & Information .....	11
World News Clip .....	12
Monthly Production Report .....	13
Gold Album+...認定 .....	14

# 多様化する音楽の楽しみ方

デジタル技術、IT環境の深化・進展はとどまらず、社会環境や生活スタイルを急速に変化させる大きな力となっています。そのプロセスのなかで、ユーザーに音楽を提供するチャンネルもCDや音楽DVDに加え、パッケージ、ノンパッケージの両方で広がりを見せています。

今回の特集では、技術の進展に伴って多様化する音楽の楽しみ方の最近の動きに焦点をあてました。

## ● パッケージ系

	スーパーオーディオCD	DVDオーディオ
		
記録コンテンツ	音楽/テキスト/静止画像	音楽/映像/テキスト
符号化方式	DSD	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーディオゾーン</li> <li>ビデオゾーン (DVDビデオ互換)</li> </ul>
ビット数	1ビット	16/20/24ビット
サンプリング周波数	2.8224MHz (2chおよびマルチチャンネルの全チャンネル)	48/96/192kHz 44.1/88.2/176.4kHz
再生機器	スーパーオーディオCD対応プレーヤー/ CDプレーヤー (ハイブリッドディスクの場合)	DVDオーディオ対応プレーヤー
タイトル数概算	約1,200 (04年6月)	約300 (04年5月)
著作権管理技術	スーパーオーディオCD Mark/PSP-PDM/Content Encryption	CPPM規格
URL	<a href="http://www.super-audiocd.com">http://www.super-audiocd.com</a> (スーパーオーディオCD国内プロモーション) <a href="http://www.licensing.philips.com/information/sacd/">http://www.licensing.philips.com/information/sacd/</a> (スーパーオーディオCDライセンス)	<a href="http://www.dvdaudio-net.com">http://www.dvdaudio-net.com</a> (DVDオーディオプロモーション協議会) <a href="http://www.dvdforum.org">http://www.dvdforum.org</a> (DVD Forum)

スーパーオーディオCDロゴはソニー、フィリップスの登録商標です。

DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンス(株)の登録商標(米国、日本他)です。

## ● ノン・パッケージ系

	Mora	Any Music	レーベルモバイル(着うた)
			
サービス内容	音楽配信	音楽配信 (Mora) / FMオンエア情報配信 / CDのオンライン販売	携帯電話着信音源・映像配信 / コンテンツ配信
サービス対象	一般	対応機器保有・利用登録者	対応端末利用者
音声圧縮方式	ATRAC3	ATRAC3	MP3/AAC
税込販売価格 (1曲/アルバムあたり)	158~368円/1050円~	158~368円/1050円~ (サービスの利用登録手数料として315円、月額利用料として315円が必要)	52円~210円(1曲) (EZwebおよびVodafone Live!) 315円、525円(月額) (i-mode)
ダウンロード/再生機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード</li> <li>PC/ネットワーク家電 (エニーニュージック対応)</li> <li>再生機器</li> <li>PC/ネットワーク家電(エニーニュージック対応)/Net MD対応機器/メモリースティック対応プレーヤー (OpenMG対応)/HDDプレーヤー(OpenMG対応)/音楽プレーヤー付携帯電話(OpenMG対応)/ATRAC CDプレーヤー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード</li> <li>ネットワーク家電(エニーニュージック対応機器)</li> <li>再生機器</li> <li>ネットワーク家電(エニーニュージック対応機器)/Net MD対応機器/メモリースティック対応プレーヤー (OpenMG対応)/音楽プレーヤー付携帯電話 (OpenMG対応)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダウンロード/再生機器</li> <li>対応携帯電話</li> </ul>
配信楽曲数	約38,000 (04年5月)	約38,000 (04年5月)	約20,000 (04年6月)
著作権管理技術	OpenMG	OpenMG	携帯電話固定ID方式
決済方法	クレジットカード/Smash/WebMoney/eLIO/Edy/ネットミュージッククーポン	クレジットカード	携帯電話利用料金と共に支払うシステム
URL	<a href="http://mora.jp/">http://mora.jp/</a>	<a href="http://www.anymusic.jp/">http://www.anymusic.jp/</a>	<a href="http://lmeo.net/">http://lmeo.net/</a>

## IT環境の進化とノン・パッケージ系音楽メディア

(株)レーベルゲートでは、この4月から音楽配信サービスの名称を“Mora”(モーラ)として、新たなスタートを切りました。Moraは、時流に沿って「やわらかく、短く」をテーマに名づけられ、音楽を「網羅」するという意味も込められています。「24時間音楽をダウンロードできるワンストップ・ショップ」という位置づけで、音楽ファンの生活スタイルに対応して、音楽を楽しむ多様なかたちを提案し、飛躍を図っています。

プロモーションチームの長嶺さんに、Moraの今とこれからについて、お話しいただきました。

### ● 配信領域・対応機器を増やし、間口を広げる

レーベルゲートは、各レコード会社配信サイトのバックヤードサービスとして、2000年の4月にスタートしました。配信曲数も年々増加し、昨年末からはアルバム配信も開始するなど、サービス体制が充実してきました。そこから、さらなる飛躍へ向け、今年4月に、新しいダウンロードミュージックショップ・ブランドの確立を目指し、やわらかく、短く、親しみやすい“Mora”(モーラ)へ移行しました。4月当初のレーベル数は28社、配信曲数は約38,000曲。着実に配信曲数が増えており、夏頃までに100,000曲、今期中には150,000曲規模は達成できると見えています。ダウンロード、アクセス数ともに右肩上がりで、5月には13万ダウンロードを超える勢いとなっています。

Moraでは、ユーザーが買い易く、聴き易い環境を整えることを大きなテーマとしています。音楽配信というと、パソコンでダウンロードして、パソコンや限られた専用ポータブル・プレーヤーで聴く、というイメージが一般に定着していると思います。そこから、例えば車載オーディオを通じて聴く、テレビからダウンロードする、というよ

うに広げていきたいですね。圧縮方式にATRAC3、著作権管理技術にOpenMGを採用し、対応機器が幅広いという特徴を伸ばしていきます。5月からは、オーディオメーカー各社が共同で立ち上げたエニーミュージック(株)と連携し、オーディオ端末を使って音楽コンテンツを総合的に展開するサービス“Any Music”でも配信サービスを開始しました。いわば“Any Music”という百貨店に、Moraというブティックを出店するようなもの。これにより、ネットワーク家電領域への展開が進み、ユーザーの利便性も大きく向上しました。今後は、すでにパソコンに匹敵する機能を有するようになったゲーム機への対応を目指して、取り組みを進めています。

### ● テレビとリモコンというスタイルを、音楽配信の定番に

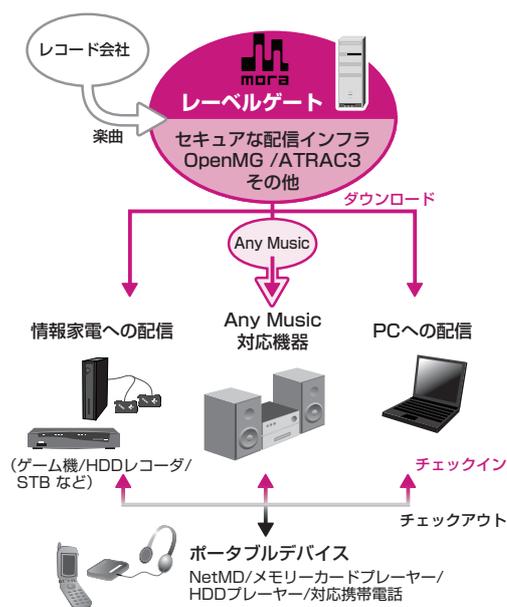
ユーザーの生活スタイルに合った音楽配信ショップを目指す上で、テレビは大きなキーとなります。パソコンとマウス、キーボードだと体を前のめりにして作業し、肩が凝る感がありますが、テレビとリモコンな

## mora.jpで、音楽に触れる時間を増やしていただきたい

ら、後ろに寄りかかる感じになり、くつろげますよね。私はこれを「前30度、後ろ30度の法則」と呼んでいます(笑)、このようにリラックスして音楽を選び、購入するというスタイルを定着させたいと考えています。レコード会社のCMも流れ、ドラマなどとタイアップした曲もヒットする。音楽をいいなと思う瞬間はテレビの前だと多いんじゃないでしょうか。即座に入手できるショップがそこにあれば、ユーザーには、買い易く、快適です。家にいて音楽に向かう時間も増えるでしょう。座ってビールを飲みながら、音楽を選ぶ。そういった楽しみ方を積極的に提案していく考えです。

ITが進展し、音楽の好みや聴き方など、ユーザーのニーズは確実に多様化しています。その流れに対応するサービスの一環として、レコード会社各社にご活用いただきたいと考えています。

### ■ 今後のMora(配信領域・対応機器の拡大予定)



### 新しいオーディオ・ライフを提案する“Any Music”

エニーミュージック(株)は、「音楽を直接オーディオ機器にデリバリーする」というビジネスの確立を目指して、国内8社の主要オーディオ機器メーカーの共同出資により、今年2月に誕生しました。“Any Music”サイト上に展開する多彩な音楽コンテンツ・サービスを、対応するネットワーク・オーディオ機器で楽しんでいただく、新しいオーディオ・ライフをユーザーに提案。Moraとの連携による音楽配信を軸に、FM番組の音楽情報の発信、オンラインでのCD販売を利用登録者向けに展開しています。サービスは、5月20日からスタートしました。

(株)レーベルゲート  
プロモーションチーム  
係長 長嶺 徹氏

## レーベルモバイル(着うた)

2002年12月のサービス開始から、わずか1年半で飛躍的な成長を続ける「着うた」。携帯電話全キャリアへの展開も進み、今後ますます市場の拡大が期待されています。「着うた」ビジネスの、最近の動向と手ごたえについて、レーベルモバイル(株)モバイルビジネス部の横井さんに伺いました。

### ● 顧客層の拡大に沿って、コンテンツの充実を図る

「着うた」は、au、DoCoMo、vodafoneの携帯電話3キャリアすべてでサービスを開始したことで、利用可能な端末台数が急激に増え、半年前に比べると25%増の月間1千万ダウンロードにまで伸びています。これに伴い、音楽の好きな若者が中心だったユーザー層の幅が、広がり始めています。当社では、この状況に対応して、ユーザーに多彩なコンテンツを提供できるように、マルチサイト化を推進中です。当初はJ-POPのサイトだけでしたが、ジャンルを広げて、J-POP、洋楽、アニメ、ジャズ・クラシック、演歌・歌謡曲の5サイトで構成。お客様の属性をキャリアごとに調べて、それに沿った楽曲の展開に努めています。その一方で、コンテンツのバリエーションとして、長めの60秒バージョンや3曲メドレーのほか、切りどころを変えたもの(例えばクイーンのボヘミアン・ラプソディでは6つのバリエーション)を出して、「着うた」ならではの楽しみ方を提案しています。

また「着ムービー」や「着モーション」のダウンロードも、ここ1、2カ月で急激に伸びました。サービスとしての目新しさやキャリア側のプ

ロモーションの成功とともに、携帯電話ディスプレイの画質の向上などが後押ししていると見ています。

レパートリーはようやく20,000曲を超えたところですが、それでもこれだけダウンロード数が増えています。年間で延べ1億人以上の方が音楽をご購入くださるという事実を目のあたりにして、音楽というコンテンツの商品力、生命力に、改めて驚かされますね。「着うた」は確かに派生的なサービスですが、この現場にいと、音楽産業が計り知れない潤沢な資産を持っていることを、まざまざと実感します。

### ● 「着うた」は、音楽に出会うきっかけを与えてくれる

また、このビジネスに携わって気づいたのは、「着うた」が音楽に出会うきっかけを与えていること。当社での利用動向調査で、「着うた」を一種の試聴として使うユーザーの多いことがわかってきました。「着うた」で新曲や自分のなじみのないジャンルの曲に出会い、

## 音楽というコンテンツの生命力を日々実感しています

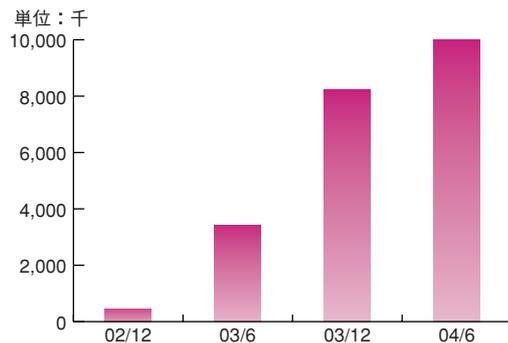


レーベルモバイル(株)  
モバイルビジネス部  
マネージャー 横井 真弓氏

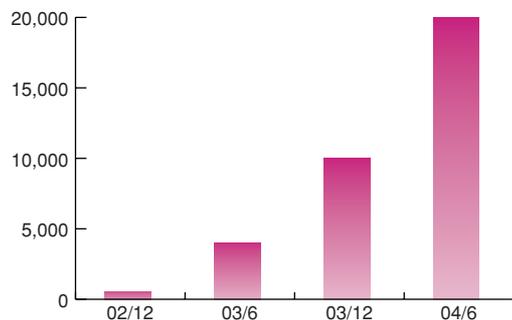
そこから興味を抱いてCDやDVD、あるいは音楽配信といった、他のメディアに移行していくわけです。例えば、J-POPの好きな人が、たまたまジャズのサイトで気に入った曲を見つけて、そのCDを購入するようなことが起きています。携帯電話の手軽さ、簡単さが、こうした利用法を生み出しているのでしょう。逆から見ると「着うた」は、お金をいただいて音楽産業のプロモーションを行っているメディアだとも言えるのではないのでしょうか。一方で、「着うた」の状況を見ることで、レコード・セールスのマーケティングに役立つかも知れません。実際に、CDリリースの先行配信で、いち早くランキング情報を得るといったケースも出てきています。

「着うた」は、音楽の力に支えられて大きく成長しているとはいえ、出来たばかりの未成熟なビジネス。これからは、マルチサイト化の推進とともに、例えば、新しいアーティストや音楽を知る手がかりになる情報を発信するなど「メディア力」を強化することで、「着うた」サービスの発展につなげたいと考えています。

■ 着うた月間ダウンロード数の推移(業界調べ)



■ レーベルモバイル社配信楽曲数の推移



## 広帯域パッケージ・メディアの概要と著作権管理技術

DVDオーディオとスーパーオーディオCD。採用している著作権管理技術などアプローチの違いはありますが、共に優れた音質が特徴で、音質にこだわる音楽ファン層を中心にアピールし、新しいパッケージ・メディアへの道を拓いてきました。この2つのメディアについて、基本的な仕組みと著作権管理技術を中心にご紹介します。

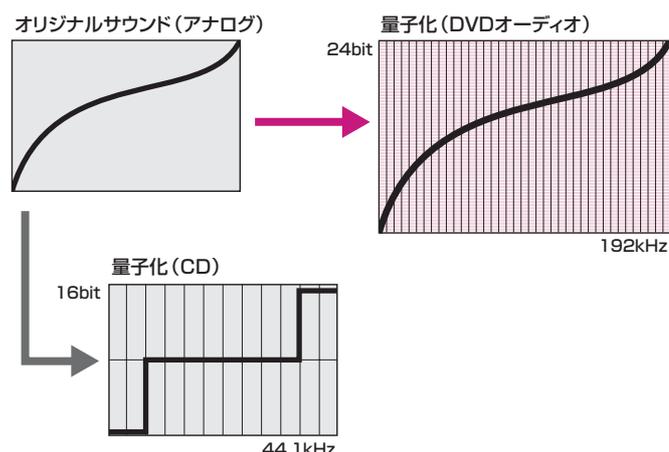
### DVDオーディオ

#### ● 大容量を活かした超高音質・マルチチャンネル再生

DVDオーディオは、多チャンネル再生によるライブ感の実現が大きな特徴。DVDビデオと同じ構造で、片面1層4.7GB、2層8.5GBの容量を有しています。DVDビデオがディスクの8割を映像に使うのに対し、DVDオーディオでは9割が音声データに使用されます。基本フォーマットは、CDと同じPCM(Pulse Code Modulation)方式で、サンプリング周波数の階層を増やし、DVDの持つ膨大な記憶容量を活かして、高音質を実現しています。通常のCDでは、サンプリング周波数44.1kHzで人間の聴ける純音の限界と言われる20kHzをカバーし、16ビットのデジタルデータにして記録します。しかし、実際の楽器の音や声はそれ以上の高音域にまで達し、そこまで再生すると明らかに音質が向上すると言われていました。44.1～192kHzまで6つのサンプリング周波数階層を持つDVDオーディオでは、再生上限周波数として、96kHzまでをサポート。CDの256倍の精度(分解能ベース)となる24ビットまでの細かいデジタルデータにしてオリジナルなサウンドに近い波形を実現するとともに、マルチチャンネルで豊かな音場再生を実現しています。また、Packed PCM(MLP)という圧縮技術で長時間記録も実現。エンコード/デコードの前後で、信号内容はビット単位でまったく変化しないため、リニアPCM信号をそのまま記録する場合に比べても、音質が劣化することはありません。静止画像、動画の記録も可能です。

DVDオーディオ対応ハードウェア機器の出荷は年々増加し、04年3月期には、日本では130万台、世界では630万台となっており(PC、車載商品を除く)、今後2年間で2,140万台へ伸長すると予測されています(DAP協議会予想)。

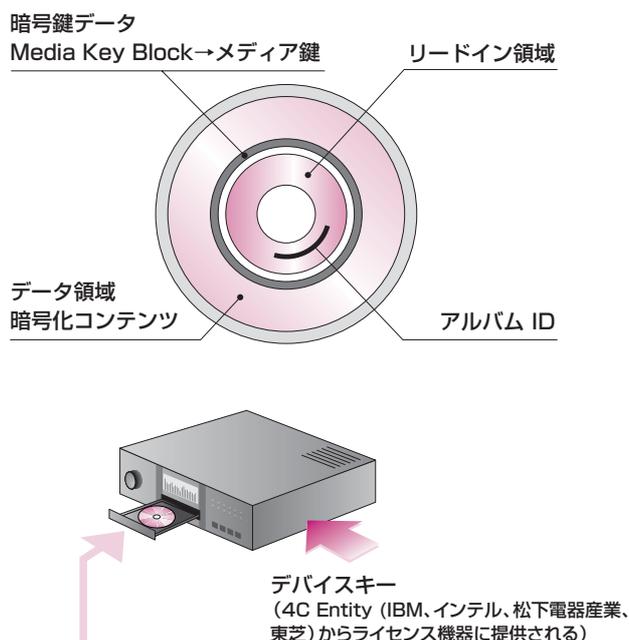
#### ■ DVDオーディオとCDの分解能比較概念図



#### ● 信頼性の高い著作権管理技術の採用

DVDオーディオは、信頼性の高いCPSA(Content Protection System Architecture)と呼ばれる包括的かつ効果的な技術で、コンテンツの保護を行っています。CPSAはさまざまなメディアの特性に応じた、複数の著作権管理技術で構成されており、こうした著作権管理技術には大きく分けて、CPPM(Content Protection for Pre-recorded Media)とウォーターマーク(電子透かし)の2種類があります。CPPMは「強力な暗号化によるコンテンツ保護」「規格違反機器の無効化機能」「PC、民生機器双方への適用」「入力・出力の許諾規定」といった厳格なシステムです。例えば、暗号化されたデータを解読するキーの管理は、機器とディスクの両方で厳重に行われ、万一キー情報が盗まれても、そのキーを無効化する機能などが備えられています。一方、ウォーターマークは音楽信号に特殊な管理情報を埋め込み、コンテンツを保護します。ウォーターマークはアナログコピー後も保存され、不正コピーディスクを再生しようとしても、再生機器が不正を認知し、再生を拒否します。1回のコピーを許されたDVDオーディオのリソースを使った不正コピーにも対応します。DVDオーディオでは、この2種類をリンクして強固な著作権管理を実現しています。

#### ■ CPPMシステム概要



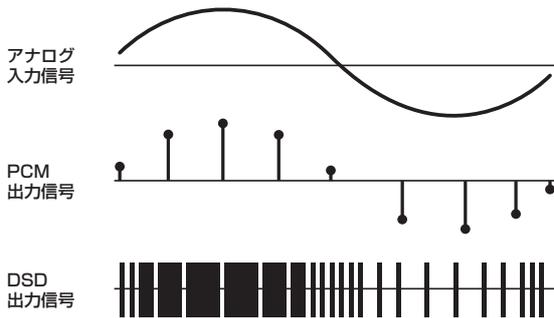
ライセンス機器はMedia Key Block、デバイスキーおよびアルバム IDからアルバム固有鍵を生成し、暗号化されたコンテンツを復号する

## スーパーオーディオCD

### ● 「原音」に迫る

スーパーオーディオCDの音声フォーマットは、DSD(Direct Stream Digital)と呼ばれ、音声信号の大小を1ビットのデジタルパルスの密度(濃淡)で表現します。最近のデジタルレコーディングでは、アナログ音声をデジタル信号化する際に、オーバーサンプリングA/Dコンバータが使われ、最初のプロセスで1ビットのデジタル信号に変換されます。CDが採用するPCM方式では、さらにPCM用の信号に変換してマルチビットでサンプリングし直すわけですが、DSDでは最初の1ビット信号をそのまま記録します。例えるならば、PCMでは音声データをいったん縦の大小の棒に並べ替え、間引きして整えるというものですが、DSDは、音声の色の濃淡をつけたゼリーを、一本の棒につめて横に流していくようなもの(図参照)。高密度なデータで、100kHzをカバーする高い周波数特性を持ち(CDでは5~20kHz)、可聴帯域内の120db以上のダイナミックレンジを確保して、「原音」に近い録音・再生を実現しています。

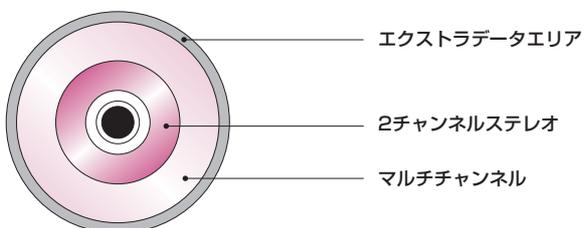
### ■ DSDの波形



スーパーオーディオCDディスクはシングル、デュアル、ハイブリッドの3種類。シングルは1層のHD層(スーパーオーディオCD高密度信号層)を持ち、デュアルはHD層が2つあるもの、ハイブリッドはCD層(既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層)とHD層を組み合わせたもの。前二者がスーパーオーディオCDプレーヤー専用なのに対し、ハイブリッドは普通のCDプレーヤーでも聴ける仕様となっています。

またスーパーオーディオCDでは、ステレオとマルチチャンネルとは別の領域を確保し、いずれの場合も常に全チャンネルを1ビット、2.824MHzで記録し、マルチチャンネル(サラウンド)でも妥協なく高音質を実現しています。

### ■ ステレオとマルチチャンネルの両方を記録できるディスク構造



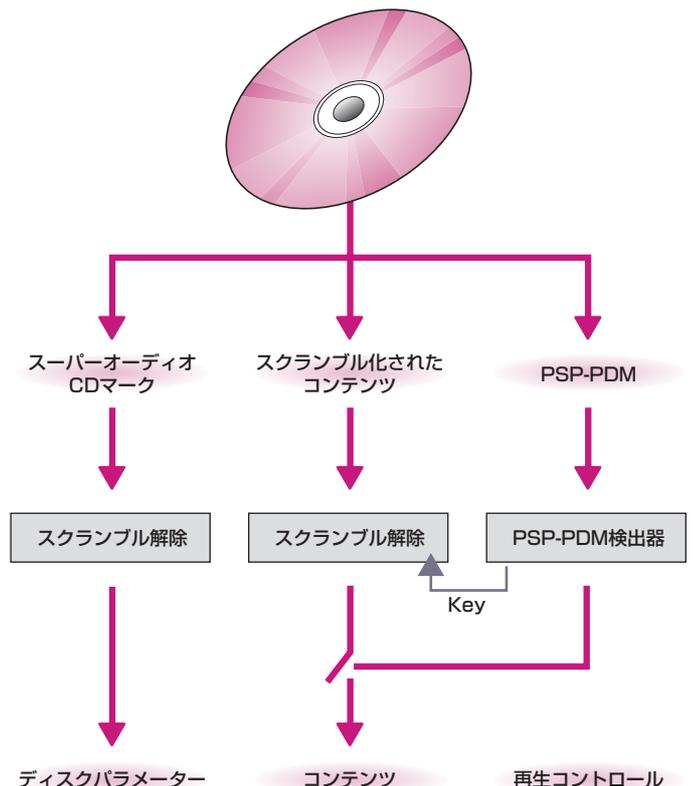
### ● コンテンツを保護する3つの著作権管理技術

スーパーオーディオCDでは、「既存パソコンでの読み取り不可」「データ暗号化」「タイトルごとに異なる暗号情報」「暗号情報のセキュリティ」「営利目的のコピーを無化する高度な技術」という5つの方法でコンテンツを保護しています。これらは、それぞれ異なるアプローチが取られ、相互に依存しないため、より高度なセキュリティが図られます。

技術的には、スーパーオーディオCDマーク、コンテンツ暗号化、PSP-PDM(Pit Signal Processing-Physical Disc Mark)の3つの主要技術があります。スーパーオーディオCDマークとは、ディスク再生に不可欠なパラメータを隠したもので、規格に対応する機器だけが読み取れます。コンテンツ暗号化では、スーパーオーディオCD独自の暗号でスクランブル化し、その解除にはキーを必要とします。PSP-PDMは、インビジブル・ウォーターマークとも呼ばれ、記録可能なディスクへの書き込みを防止するもので、海賊版等の作成をきわめて困難なものとしてします。そして、スーパーオーディオCDのライセンス機器のみがマスタリングできるようになっています。暗号解除のキーデータも隠し、再生側にも作用しています。

静止画像を入れられるようになったスーパーオーディオCDのバージョン2.0では、さらに高度なセキュリティ技術が追加されました。旧バージョンとの互換性を確保した上で、不正なプレーヤーをディスク側で拒否する機能を付加しています。

### ■ 3つの著作権管理技術



# 平成15年度事業報告

5月31日に開催された当協会の総会において、平成15年度(平成15年4月1日～平成16年3月31日)の事業報告が承認されました。以下に概要をご紹介します。

平成15年度は“RIA J21プロジェクト”の指針にのっとり、「産業基盤を強固にする年」と位置付け、立法、セキュア化、啓発、エンフォースメントをキーワードとして、「商業用レコードの還流防止措置の創設」「データベース化とEDI(電子データ交換)の推進」「著作権知識や意識の普及・啓発に関するキャンペーン・広告等」「ネット上の違法利用対策」等を重点項目として掲げ、定款に定められた諸事業も含め以下の取り組みを行った。

## 事業活動

### [1]レコードの普及に関すること

#### 1. 日本ゴールドディスク大賞の発表と顕彰

第18回日本ゴールドディスク大賞授賞式は、文化庁および音楽7団体の後援を受け、業界挙げての総合イベントとして平成16年3月10日(水)に開催した。授賞式には21組とこれまで最も多くのアーティストが出席し、その模様はNHK-TVを通じ全国に放送された。

#### 2. ゴールド・アルバム他の認定と表彰

一定の売上基準に到達したアルバム、シングルに対し、ゴールド、プラチナ、ミリオン等の認定と表彰を実施した。平成15年(平成15年1月～平成15年12月)のミリオン認定はアルバム9作品、シングル2作品であった。

#### 3. 音楽DVDキャンペーンの実施

2003年12月～2004年1月の2カ月間にわたり、当協会加盟24社による音楽DVDキャンペーンを実施し、音楽DVD商品の認知を高め需要拡大を行った。

#### 4. “音楽ギフトカード”の普及への協力

#### 5. “Music J-CIS”(Music Japan-Copyright Information Service)の構成団体としての音楽権利情報データベースの構築とユーザーへのサービス提供

(社)日本音楽著作権協会、(社)日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センターと当協会が運営する総合音楽データベース(音楽の森)の運用委託先を、jmd((株)ジャパンミュージック データ)に移し、6月から正式に稼働を開始した。平成14年度から進めてきた旧譜整備も1年分(15万曲)を残しほぼ完了した。

#### 6. 再販制度の弾力運用

会員各社の再販弾力運用状況の調査を実施し、平成15年3月31日現在の時限再販期間の短縮、時限再販期間経過商品の

値引セール拡大、非再販商品の発売等に関する「運用状況報告書」を公正取引委員会へ提出した。

再販弾力運用の一環として会員各社と協力し、インターネット廃盤セールを平成15年11月6日～19日の2週間にわたって実施した。(売上枚数39,139枚、売上金額34,029千円)

### [2]レコードに関する調査研究および統計に関すること

#### 1. 各種業界統計の作成と発表

レコード産業統計として、オーディオ・ビデオに関する生産・販売実績、新譜数、カタログ数等のデータを集計分析し、結果について一般公表を行った。

#### 2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

平成15年4月～7月に「CDレンタル店全店調査」、10月に「音楽メディアユーザー実態調査」を実施し一般公表を行った。

#### 3. データベース化とEDI(電子データ交換)の推進

EDIの完全実施に向け会員社とjmdとの間にWEBシステムを構築し連携強化をはかった。(社)日本音楽著作権協会への電子申請は11月に先行6社が本格運用を開始し、3月末には15社まで拡大した。

### [3]録音による芸術文化の保存に関すること

#### 1. 文化庁芸術祭への協力

#### 2. 日本プロ音楽録音賞の協賛

### [4]著作権・著作隣接権等に関すること

#### 1. レコード製作者の権利擁護のための法律改正運動の推進

##### ① 商業用レコードの還流防止措置の創設

「日本販売禁止レコード」の還流防止措置の導入について、関係者との協議が成立したことを受け、平成16年1月の文化審議会著作権分科会において、レコードについて何らかの還流防止措置の創設が必要であるとの意見が多数となった。その後、同措置の導入を盛り込んだ著作権法の一部を改正する法律案が、3月5日の閣議決定を経て今国会に提出され、現在審議中である。

(注)「商業用レコードの還流防止措置」の導入を含む「著作権法の一部を改正する法律案」は、6月3日の衆議院本会議において、可決、成立しました。

##### ② 放送権の創設

録音を前提とした放送について許諾権を獲得するため、

(社)日本民間放送連盟との協議を行った。なお年度内の合意には至らなかった。

### ③ 保護期間の延長

レコードの保護期間を、現行の「50年」から「70年」に延長することを求めて活動を開始した。政府レベルでは文化審議会著作権分科会法制問題小委員会で検討が開始された。

### ④ 私的録音補償金制度の改正

平成14年度の文化審議会著作権分科会のまとめにより、今年度から当協会を含む権利者7団体と製造事業者側との協議の場が設置され検討が開始された。権利者側からは、① 対象機器・記録媒体の拡大、② 補償金算出方法を定率制から定額制へ変更すること、の2点を要望した。

## 2. 著作権の知識や意識の普及・啓発に関する諸活動

### ① 著作権知識や意識の普及・啓発に関するキャンペーン・広告等

今年度は、音楽ユーザーにダイレクトに伝える展開として「LOVE MUSIC? SAVE MUSIC!」のロゴを訴求した啓発ツールの制作と展開チャネルの拡大に重点を置いた。レコード店、レンタル店、イベント・コンサート、学校、学園祭を通じてリーフレット(100万部)、ステッカー(30万枚)、ポスター(1万枚)を配布した。特に学内LANの協力要請を行った10数大学より啓発ツールの要望があり、違法対策との連動が効果的であった。

マスコミ媒体の展開は、アーティスト181組参加のポスターと同デザインの新報、雑誌広告を幅広く展開した。一般の10代から50代を対象としたWEB調査によると、広告認知率は30.6%と昨年より5%アップした。

また、音楽他団体との連携や媒体等の協力を得て幅広く展開した。

### ② 著作権教育

当協会独自の活動として東京都教職員研修センターのカリキュラム開発に参加、小学校での検証授業を実施した。また慶応大学では学校側の要請によりシンポジウムを開催した。

CRIC((社)著作権情報センター)、ACCS((社)コンピュータソフトウェア著作権協会)等の関係機関、団体と連携し教職員、一般向け講座へ参加するとともに、啓発ツールの提供を行った。

## 3. 違法対策の為の諸活動

### ① ネット上の違法利用対策

i. 企業・学校・公的機関等のネットワークを利用した違法アップロードに対して、ネットワーク管理者に違法防止協力を要請し、特に全国1,200の国公立大学・短大に対しネットワーク管理の徹底に関する協力要請文書を送付した。また、インターネットサービスプロバイダーに対し、

プロバイダー責任法に基づく協力要請を行い、違法利用排除のための対策を講じた。

ii. インターネット上でファイル交換ソフトを利用して音楽ファイルの不正アップロードを行っている個人ユーザーに対し、インスタントメッセージを利用して注意を喚起する通知の送付を開始した。

### ② 違法録音物対策

海賊盤、見本盤販売、カラオケ教室等の違法録音、調査・警告活動を行い、悪質行為者に対しては法的手段を講じた。

## 4. IFPI(国際レコード産業連盟)・RIAA(アメリカレコード協会)・他のレコード産業団体との協力・情報交換、およびWIPO(国際知的所有機関)等への活動協力

### ① IFPIの各種会議に世界のレコード産業の一員として参加し、積極的に審議、意見交換等を行った。

- i. 中央理事会
- ii. 国際演奏権委員会
- iii. 市場調査委員会
- iv. レコード産業技術サミット

### ② 文化庁とCRICの共催で行われたWIPOとの協力事業、ASEAN+3著作権セミナーに参加したほか、海外研修生への講義等を行った。

## [5]レコードに関する出版物の刊行

### 1. 出版物の刊行

- ① 機関誌「THE RECORD」の発行
- ② 「日本のレコード産業」の発行

### 2. 協会ホームページ

## [6]レコード製作者にかかわる商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、総額の取り決めならびに徴収および分配

### 1. 二次使用料

「二次使用料委員会」を組織し二次使用料の引き上げを求めて放送事業者等との協議を行った。その結果、徴収金額は39億1,500万円(前年度比5.7%増)となった。

### 2. 送信可能化権集中管理事業の検討

レコード製作者の送信可能化権の集中管理についてプロジェクトを組織し検討を行った結果、一定範囲の利用方法について来年度から当協会が著作権等管理事業者として集中管理事業を開始することが決定した。

## [7]レコード製作者にかかわる商業用レコードの、公衆への貸与にかかわる報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

### 1. 貸レコード使用料に関する指定団体業務の実施

2003年4月～2004年3月年間出荷枚数(邦洋計)は、20,408千枚(前年比91.2%)であった。また、使用料(邦洋計)徴収額は37億9,000万円(前年比93.6%)で前年実績を2億6,000万円下回った。

### 2. 貸レコード業対策の実施

全国調査室で監視・指導を実施し、禁止・契約違反の発見および再発防止に注力した。本年度は延べ14,445店の訪店調査を実施し、違反店に対し警告・指導等を行い改善が図れた。

## [8]私的録音録画補償金に関する権利行使団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者にかかわる当該補償金の分配

### 1. 私的録音補償金

特に補償金対象である記録媒体の低価格化が一段と進行したことが影響し、徴収金額は6億9,300万円(前年度比15.6%減)となった。

### 2. 私的録画補償金

補償金対象機器・記録媒体の販売数量が増加した結果、徴収金額は1,800万円(前年度比260.0%増)となった。

## [9]その他

### 1. レコード倫理審査会の開催

### 2. 業界規格(RIS)の制定と改正

平成15年度に制定又は改正したRISおよび運用基準は次のとおりであった。

「スーパーオーディオCDの表示に関する運用基準」

(平成15年9月8日制定)

「複製制御CDの表示に関する運用基準」

(平成15年10月17日改正)

「DVDオーディオ追加表示事項」

(平成15年12月12日制定)

### 3. “ISRC”(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

国際規格に準拠するために国内ISRC関連規格改正を行い、平成16年度より施行となった。これにより登録者が「定期的な商業用レコードの発売を業務とする企業」から「すべての善良なレコード製作者」に拡大されることになり、併せて登録者情報および実施状況報告の完全オンライン化を実現し、登録者自身による登録内容・報告状況の確認が可能となった。

### 4. その他当協会の事業目的を達成するための必要な諸施策の実施

#### ① 権利保護技術の導入支援

コピーコントロールCD(CCCD)については、表示運用基準を平成15年10月17日に改正し、更なる定着への支援を行った。

レコードメディアのセキュア化を推進するために、普及が拡大したDVDビデオプレーヤーで再生可能な音楽商品の「DVDミュージック」の仕様運用基準(ガイドライン)を平成15年2月21日に、また、表示運用基準を平成15年3月14日に制定・発行した。また、DVDミュージックの導入支援のため、経済産業省やJEITA((社)電子情報技術産業協会)に協力を要請した。

DVDオーディオのコピー禁止設定(N=0)導入を推進し、コピールールの改正に伴い、表示の運用基準(追加表示事項)を平成15年12月12日付で改正した。

また、スーパーオーディオCD(SACD)についても、表示の運用基準を平成15年9月8日付で制定するなど次世代オーディオについても会員社の導入支援を行った。

#### ② コンテンツIDの検証

平成14年度の実験結果を踏まえ、さらにこれを進めヴェランス社のウォーターマークを組み込んだ放送用音源の配信と認証実験を行った。さらに総務省実証実験の1つとしてダウンロード対応専用DRM(デジタルライツマネージメント)による権利保護技術の検証とコンテンツ配信の利便性等の検証を行った。

## 運営体制

- ・ 総会
- ・ 理事会
- ・ 執行委員会
- ・ 法制委員会
- ・ 情報・技術委員会
- ・ 広報委員会
- ・ マーケティング委員会

本年度の事業目的遂行のため、関係諸官庁ならびに関係諸団体と常に連絡協調を保持しつつ業務を推進した。

以上



6月3日、衆議院本会議において「音楽レコードの還流防止措置」の導入を含む「著作権法の一部を改正する法律案」が可決、成立し、来年1月1日から施行されることとなりました。以下が、その法律の概要です。

## 1. 音楽レコードの還流防止措置 (第113条第5項関係)

● 国内において頒布することを目的とする商業用レコードと同一の商業用レコードであって、専ら国外において頒布することを目的とする「商業用レコード」を、情を知って、国内において頒布する目的をもって「輸入」する行為は、権利者の得ることが見込まれる利益が不当に害されることとなる場合に限り、「著作権」又は「著作隣接権」の侵害とみなすこととする。

● ただし、国内において最初に発行された日から起算して七年を超えない範囲内において政令で定める期間を経過した商業用レコードについては、適用除外とすることとする。  
\*改正法の施行時に発行されている商業用レコードについては、「改正法の施行日」から起算して七年を超えない範囲内において政令で定める期間は適用の対象とすることとする。(附則第3条)

● このような商業用レコードの国内における頒布及び頒布目的所持についても同様に「著作権」又は「著作隣接権」の侵害とみなすこととする。  
\*改正法の施行前に輸入され、施行時に頒布の目的をもって所持されている商業用レコードについては適用しないこととする。(附則第2条)

## 2. 書籍・雑誌の貸与権(無断で貸与されない権利)の付与 (附則第4条の2関係)

● 書籍又は雑誌の貸与についての経過措置を廃止し、書籍又は雑誌の貸与による公衆への提供について貸与権が及ぶこととする。  
\*改正法の公布日の属する月の翌々月の初日において公衆への貸与の目的をもって所持されている書籍又は雑誌の貸与については、引き続き無許諾で貸与できることとする。(附則第4条)

## 3. 罰則の強化 (第119条~124条関係)

● 著作権等の侵害についての「懲役刑」及び「罰金刑」の上限を引き上げるとともに、これらを併科できることとする。

— 懲役刑 —

- ・3年以下の懲役 → 5年以下の懲役
- ・1年以下の懲役 → 3年以下の懲役

— 罰金刑 —

- ・1億円以下の罰金(法人) → 1億5,000万円以下の罰金
- ・300万円以下の罰金 → 500万円以下の罰金
- ・100万円以下の罰金 → 300万円以下の罰金
- ・30万円以下の罰金 → 50万円以下の罰金

※施行日：平成17年1月1日から施行するものとする。(附則第1条)

「1. 音楽レコードの還流防止措置」は、日本の音楽への需要が高まっているアジアを中心とした国々に積極的に日本音楽の普及促進を図るため必要不可欠な制度として、当協会等音楽関係団体が導入を求めているものです。今後、施行日までの間に、具体的な還流防止期間が政令で定められるとともに、税関での運用基準等の詳細が決定される予定です。

当協会及び会員社は、欧米諸国からの洋楽の並行輸入や個人輸入等を阻害するなど消費者の利益が損なわれることのないよう、立法趣旨に則り、制度の適切な

運用を図るとともに、消費者への利益の還元にさらに努めていきたいと考えております。

「2. 書籍・雑誌の貸与権の付与」は、新たなレンタルブック店の出現による漫画家・作家等の経済的影響を考慮し、暫定措置を廃止することとしたものです。

「3. 罰則の強化」は、デジタル化、ネットワーク化による深刻な著作権侵害の状況に鑑み、著作権侵害に対する抑止効果を高めることを主眼としています。また、知的財産関連の法律として初めて懲役刑と罰金刑の「併科」を導入した点も意義があります。

# Topics & Information

## 第117回通常総会開催 役員改選、依田会長再任

当協会は、5月28日、ホテルニューオータニ(東京千代田区)において、第117回通常総会を開催し、下記役員人事を承認しました。会長には、前期に引き続き、依田 巽エイベックス(株)代表取締役会長兼社長が選任されました。

なお、任期はいずれも2004年6月1日より2年間です。

◎人事の件 (6月1日付)

会長	依田 巽	エイベックス(株)
副会長	澁谷 敏旦	ビクターエンタテインメント(株)
副会長	石坂 敬一	ユニバーサル ミュージック(株)
副会長	齊藤 正明	東芝EMI(株)
副会長	盛田 昌夫	(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
理事	中島 正雄	コロムビアミュージックエンタテインメント(株)
理事	小池 武久	キングレコード(株)
理事	飯田 久彦	(株)テイチクエンタテインメント
理事	西野 茂詔(新任)	日本クラウン(株)
理事	佐藤 修	(株)ポニーキャニオン
理事	吉田 敬	(株)ワーナーミュージック・ジャパン
理事	徳市 慎治	(株)バップ
理事	田代 秀彦	(株)BMGファンハウス
理事	細川 健	(株)プライエイド・レコーズ
理事	後藤 豊	(株)フォーライフ ミュージックエンタテインメント
専務理事	田辺 攻	(社)日本レコード協会
常務理事	生野 秀年	(社)日本レコード協会
理事・事務局長	田中 純一(新任)	(社)日本レコード協会
監事	荒井 善清	ジェネオン エンタテインメント(株)
監事	武市 智行(新任)	(株)ドリーミュージック
監事	城戸 勉	城戸法律事務所弁護士
		以上理事18名、監事3名

◎新任(理事6月21日付、副会長6月25日付)

理事・副会長 榎本 和友

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役社長

## 当協会事務所移転のお知らせ

この度、当協会は下記の住所に事務所を移転します。なお、新住所での業務開始日は、7月20日からとなります。

新住所： 〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16  
北青山吉川ビル11F

業務開始日： 2004年7月20日(火)

	TEL	FAX
代表	03-6406-0510	03-6406-0520
総務部	03-6406-0511	03-6406-0520
情報・技術部	03-6406-0512	03-6406-0520
法務部	03-6406-0513	03-6406-0520
広報部	03-6406-0514	03-6406-0522
業務部	03-6406-0515・0516	03-6406-0522

## ● 2004年6月会議メモ

6・2	マーケティング委員会
6・8	法制委員会
6・10	レコード倫理審査会
6・11	情報・技術委員会
6・16	広報委員会
6・18	執行委員会
6・24	レンタルレコード委員会
6・25	理事会

## 当協会人事

◎退任(6月17日付)

理事・副会長 盛田 昌夫

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 代表取締役社長

## 違法ファイル交換対策キャンペーンに関する初の調査結果まとまる

IFPI (国際レコード産業連盟) は6月8日、国際的規模で開催されている違法ファイル交換対策キャンペーンについて、フランス、ドイツ、イギリス、デンマークの4カ国を対象に行った初の調査結果を発表しました。デンマーク、ドイツ、イタリア、アメリカではすでに違法ファイル交換ソフトウェアに対する訴訟が行われていますが、今後数カ月以内には、新たな国々でも同様の訴訟が行われる予定です。

今回の調査結果では、ヨーロッパ各国において、キャンペーンによる違法ファイル交換の抑止効果は高まっており、また、インターネット上の違法ファイル数は着実に減少傾向にあることが明らかになりました。一方、オンラインで合法的に音楽を入手できるサイトの数は、1年前の5倍になり、現在100を超えています。

また、訴訟活動では、デンマークとドイツですでにいくつかの訴訟で決定が下っています。デンマークでは17名が平均で数千ユーロの損害賠償金支払いに同意したほか、ドイツでは1名が8千ユーロの損害賠償金を支払うこととなりました。また、イタリアでは現在30名が著作権侵害で起訴されています。

IFPIのJay Berman会長は今回の調査結果を発表するにあたり、次のように述べています。

「新たな合法オンライン音楽サービスの充実を背景とした訴訟活動は、違法ファイル交換に対するユーザー動向に確実な影響をもたらすと同時に、ファイル交換行為そのものを抑制している。しかし、これは我々の勝利宣言ではなく、今後の音楽市場発展や世論の変化に手応えを感じている段階に過ぎない。

違法ファイル交換に対しては、音楽産業のみならず、全世界で1兆ユーロ以上に相当する映画等のコンテンツ産業にも影響を与えるものであり、各国政府もその対策に大きな役割を有している。我々は、政府によるサポートを、オンライン海賊対策および合法オンラインサービス展開を促進するものとして歓迎している。先日、フランス政府がインターネット海賊に対するアクションプランを発表したが、このようなイニシアチブについては特に歓迎の意を述べたい」

### 調査概要

今回で2回目となる本調査は、IFPIが今年5月、フランス、ドイツ、イギリス、デンマークの4カ国において実施(1回目調査は今年1月)。また、FIMI(イタリアレコード協会)、AC Nielsen、SNEP(フランスレコード協会)、IFOP(フランス世論研究所)でも、個別に同様の調査が実施された(前回調査は昨年12月)。

### 著作権意識啓発における効果

- ・ フランス、イギリス、デンマーク、ドイツを対象にした調査では、10人中7人が、「権利者の許可なく音楽ファイルの交換をする行為は違法である」と回答した(4カ国平均で71%、キャンペーン開始当初の調査では66%)。

### 政府による対応

- ・ フランス政府は、オンライン海賊に対抗し、同時に合法オンライン音楽サイト促進に向けたアクションプランの実施を開始した。
- ・ イタリア政府は5月、違法ファイル交換を犯罪とする「新海賊対策法」を採用して、音楽産業をサポートしている。

### ファイル交換による影響

- ・ インターネット上の著作権侵害にあたる音楽ファイル数は、ピーク時の2003年6月には11億ファイルであったが、2004年1月には9億ファイル、今回の調査では8億ファイルへと減少している。
- ・ P2Pネットワークで入手可能な音楽ファイルは7億ファイルと推計されるが、この数字も2003年6月の10億ファイル、2004年1月の8億ファイルから減少している。

### 合法オンラインサービス

- ・ 現在ヨーロッパでは30万曲が、またイギリスでは5月のNapsterのサービス開始によって、70万曲がオンライン上で入手可能。OD2社調べによると、ヨーロッパで合法オンライン音楽サービスに登録するユーザー数は、2003年9月末の38万人から2004年5月には83万人に増加した。

### 各国における訴訟

- デンマーク  
5月に民事請求文を受けた88名のうち、17名がすでに平均3千ユーロの賠償金を支払った、もしくは支払いを承諾している。また、88名のうち23名は賠償金額の交渉中である。数カ月以内には、さらに数百名に対する訴訟が起こされる予定。
- アメリカ  
2003年9月から、主要レコード会社は合計2,947名に対して著作権侵害訴訟を提起した。そのうち、今日までに504件が和解している。

(IFPIプレスリリース 04.06.08)

# Monthly Production Report

## 2004年5月度レコード生産実績

5月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比101%の2,390万枚、金額で前年同月比93%の272億円となりました。内訳では、オーディオレコードは、CDシングルが先月に引き続き数量・金額共前年同月を上回ったもののCDアルバムが振わず、数量で前年同月比99%の2,192万枚、金額で前年同月比91%の239億円となりました。一方、音楽ビデオは、音楽DVDを中心に引き続き好調で、数量で前年同月比134%の198万枚、金額は前年同月比114%の33億円と伸長しました。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	5月実績						2004年(1月~5月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シン	邦	991	5	107%	118	0	50%	8,732	7	282%	808	1	71%
	洋	276	1	183700%	21	0	140080%	1,454	1	53420%	133	0	11384%
	計	1,267	6	137%	139	1	58%	10,186	8	329%	942	1	83%
ン	邦	6,120	28	106%	4,641	19	106%	27,375	21	101%	20,486	14	100%
	洋	76	0	52%	63	0	51%	320	0	75%	265	0	75%
	計	6,196	28	105%	4,704	20	104%	27,695	22	100%	20,750	14	100%
グ	邦	7,111	32	106%	4,758	20	103%	36,106	28	119%	21,294	14	99%
	洋	352	2	242%	84	0	69%	1,774	1	415%	398	0	112%
	計	7,462	34	109%	4,843	20	102%	37,881	29	123%	21,692	14	99%
ル	邦	7,934	36	96%	10,487	44	98%	56,764	44	99%	84,761	56	100%
	洋	5,671	26	95%	7,880	33	81%	29,047	23	101%	40,727	27	96%
	計	13,606	62	96%	18,368	77	90%	85,812	67	100%	125,488	83	98%
12cmCD アルバム	邦	15,045	69	101%	15,245	64	99%	92,871	72	106%	106,055	70	100%
	洋	6,023	27	98%	7,965	33	80%	30,821	24	105%	41,125	27	96%
	計	21,068	96	100%	23,210	97	92%	123,692	96	106%	147,180	98	98%
CD 合計	邦	9	0	33%	14	0	46%	505	0	328%	136	0	76%
	洋	1	0	44%	2	0	46%	74	0	319%	121	0	483%
	計	10	0	34%	15	0	46%	578	0	327%	258	0	126%
アナログ ディスク	邦	753	3	74%	587	2	64%	4,018	3	78%	3,124	2	75%
	洋	0	0	0%	0	0	0%	9	0	78%	6	0	68%
	計	753	3	74%	587	2	64%	4,027	3	78%	3,130	2	75%
カセット テープ	邦	77	0	110%	38	0	112%	135	0	111%	156	0	142%
	洋	12	0	143%	24	0	126%	104	0	74%	202	0	86%
	計	89	0	114%	62	0	117%	239	0	91%	359	0	104%
その他	邦	15,884	72	99%	15,883	67	97%	97,529	76	105%	109,472	73	99%
	洋	6,036	28	98%	7,991	33	81%	31,008	24	105%	41,454	27	96%
	計	21,920	100	99%	23,874	100	91%	128,536	100	105%	150,926	100	98%

### ● 音楽ビデオ

	5月実績						2004年(1月~5月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	1,879	95	140%	3,118	95	121%	11,949	95	111%	19,977	95	102%
LD・その他	62	3	118%	86	3	87%	342	3	73%	551	3	67%
テープ	40	2	52%	91	3	43%	237	2	29%	513	2	23%
合計	1,981	100	134%	3,295	100	114%	12,528	100	104%	21,041	100	93%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	5月実績						2004年(1月~5月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	21,920	92	99%	23,874	88	91%	128,536	91	105%	150,926	88	98%
音楽ビデオ	1,981	8	134%	3,295	12	114%	12,528	9	104%	21,041	12	93%
合計	23,901	100	101%	27,169	100	93%	141,065	100	105%	171,967	100	97%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

	5月実績						2004年(1月~5月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	9,935	95	194%	13,022	85	181%	50,550	94	139%	63,676	85	123%
LD・その他	62	1	71%	86	1	67%	389	1	60%	586	1	61%
テープ	464	4	75%	2,171	14	96%	2,617	5	64%	10,866	14	66%
合計	10,462	100	180%	15,279	100	160%	53,556	100	130%	75,129	100	109%

### ● オーディオ/ビデオ合計

	5月実績						2004年(1月~5月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	21,920	68	99%	23,874	61	91%	128,536	71	105%	150,926	67	98%
ビデオ	10,462	32	180%	15,279	39	160%	53,556	29	130%	75,129	33	109%
合計	32,382	100	116%	39,153	100	109%	182,092	100	111%	226,055	100	101%

備考 1. 上記実績は、会員会社「41社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

# Gold Album +... 認定

2004年5月度

5月度ゴールドアルバム等認定では、平井 堅「瞳をとじて」、Mr.Children「Sign」、アヴリル・ラヴィーン「アンダー・マイ・スキン」、Ryu / Sun「冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック」がダブル・プラチナとなりました。

## 邦楽

### アルバム

#### ● プラチナ

天使のわけまえ／ピーク果てしなく ソウル限りなく	GLAY	2004.05.19	TO
新たななる香辛料を求めて	森山直太郎	2004.05.26	UM

#### ● ゴールド

ASTROMANTIC	m-flo	2004.05.26	AVT
Twenty Two	タッキー&翼	2004.04.28	AVT
TRAVELER	hitomi	2004.05.12	AVT
GAME	FLOW	2004.05.26	KS
山口百恵トリビュート Thank You For...	VARIOUS	2004.05.19	MH

### シングル

#### ● ダブル・プラチナ

瞳をとじて	平井 堅	2004.04.28	DF
Sign	Mr.Children	2004.05.26	TF

#### ● プラチナ

Carry On／運命のヒト	EXILE	2004.05.12	AVT
涙	ケツメイシ	2004.04.21	TF
BANZAI	B'z	2004.05.05	BM
ハナミズキ	一青窈	2004.02.11	C

#### ● ゴールド

かばん	aiko	2004.04.28	PC
the Love Bug	m-flo loves BoA	2004.03.17	AVT
明日へ架ける橋	倉木麻衣	2004.05.19	GZ
YUME日和	鳥谷ひとみ	2003.11.06	AVT
1,000,000 MONSTERS ATTACK	SOUL'd OUT	2004.04.21	SE
トランジスタGガール	TOKIO	2004.03.03	UM
マスカラまつげ／はじまりのla	DREAMS COME TRUE	2004.04.21	UM
火の鳥	中島美嘉	2004.06.02	AI
キミはともだち	平井 堅	2004.05.19	DF
GO!!!	FLOW	2004.04.28	KS
釧路湿原	水森かおり	2004.04.17	TJC

## 洋楽

### アルバム

#### ● ダブル・プラチナ

アンダー・マイ・スキン	アヴリル・ラヴィーン	20040512	BMG
冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック	Ryu / Sun	20030704	JK

#### ● プラチナ

D12ワールド	D12	20040424	UM
---------	-----	----------	----

#### ● ゴールド

グレイテスト・ヒッツ	ガンズ・アンド・ローゼズ	20040317	UM
イツ・アバウト・タイム	クリスティーナ・ミリアン	20040324	UM
ヴェイナス	V.A.	20040310	TO
THE 70's -Beautiful Days-	V.A.	20040421	UM
ダンスホール・ヴァイブス	VARIOUS	20040421	WJ

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:パーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/EP:アップフロントワークス(ゼティマレーベル)/ES:EPICレコードジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/JK:ユナイテッド・アジアエンターテイメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/MU:ドリーミュージック/ON:ビーヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PY:プラチア・エンタテイメント/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー・ジャパン



瞳をとじて/平井 堅



Sign/ Mr.Children



アンダー・マイ・スキン/アヴリル・ラヴィーン



冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック/  
Ryu / Sun

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

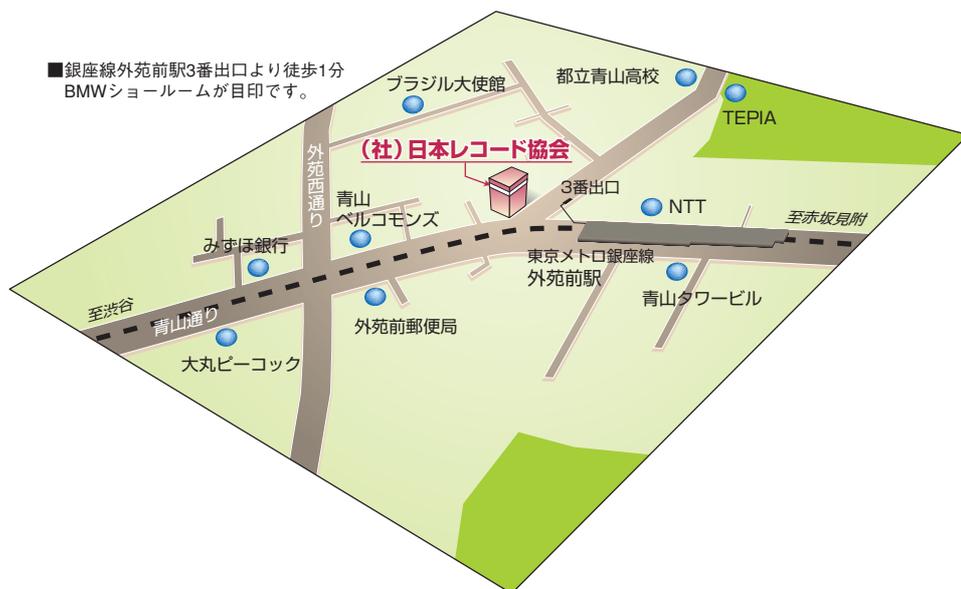
## 協会からのお知らせ

当協会は、7月20日より事務所を下記住所に移転いたします。

〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16北青山吉川ビル11階

代表電話番号 03-6406-0510

各部署の直通電話番号・FAX番号は、11ページのTopics & Informationをご参照ください。



## Respect Our Music

THE RECORD No.536 2004年7月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 依田 巽

編集人 田辺 攻

発行日 2004年7月10日

発行 社団法人 日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL. 03-3541-4411 (代) FAX. 03-3541-4460 (代)

URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

### 編集後記

久しぶりにジャズのライブに行ってきました。自宅で聴くCDとはまた違った間合いや雰囲気、あっという間の2時間でした。しばらくライブ通いが続きそうです。

(R.O)